

◆やまなしエコトランプ(仮名称) 教材開発中です

山梨県地球温暖化防止活動推進センターでは、市民の皆さんが気候変動や温暖化防止につながるエコライフについて、楽しく学べる教材開発に取り組んでいます。今年度は、「やまなしエコトランプ」と題し、トランプ絵札 53 枚に、身近にできるエコな取り組みや、町の中で自然エネルギーを発見しようと呼びかけています。デザインや作画は、推進員の鈴木律子さんです。センタースタッフとあれこれ意見を出し合いながら、この晩秋を目指して制作しておりますので、お楽しみに！完成をしたら、山梨県の子どもたちに遊んみながら学んでもらえるよう、学童保育所を中心に活用してもらおうと企画中です。 ★山梨県地球温暖化防止活動推進センター 学習教材の WEB サイト <https://www.keep.or.jp/yccca/material.html>



◆エコ×エネ親子 DAY キャンプ～自然と遊びながらエコロジーとエネルギーを学ぼう 参加者募集

<https://www.seisenryo.jp/experience suishin-center.html>

山梨県の親子を対象に、金川の森と清里高原にて「エコ×エネ親子 DAY キャンプ」を開催します。豊かな森の中で親子で一緒にたっぷりと自然あそびをし「自然環境やエネルギーを大切にする」未来について考えることを目的に。太陽の光で育った森の樹木、その身近な自然エネルギーの恵みを活用しておやつを作り、山梨にあふれる自然エネルギーについても学びます。親子で共に体験をし、共に考えるを通して、想像力や創造力を高めるキャンプです。

●第 1 回／2020 年 11 月 29 日(日)10 時～15 時

主催： 山梨県地球温暖化防止活動推進センター(公益財団法人キープ協会)

会場： 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター (山梨県北杜市高根町清里 3545)

対象： 山梨県に住む小学3年生～中学 3 年生の親子 定員： 10 組 20 人 参加費：無料

※地域における地球温暖化防止活動促進事業 補助事業

●第 2 回／2020 年 12 月5日(土)11 時～16 時

主催： 山梨県森林公園 金川の森 / 山梨県地球温暖化防止活動推進センター

会場： 山梨県森林公園 金川の森(山梨県笛吹市一宮町国分 1162-1)

対象： 山梨県に住む小学3年生～中学 3 年生の親子 定員： 5組10 人 参加費：無料

※公益財団法人やまなし環境財団 委託事業

◆山梨県地球温暖化防止活動推進員研修会 ゲスト;ヴァンフォーレ甲府 予告

山梨県地球温暖化防止活動推進センター主催の研修です。みなさんは、全国的にも先進的な環境への取り組みをしている『ヴァンフォーレ甲府』の魅力をご存じでしょうか？山梨から、日本のスポーツ界の意識を変える！を掛け声にヴァンフォーレ甲府の温室効果ガス削減事業について学びます。また、その視点から自分達の活動をよりよく変化させていく機会にしましょう

・日程／12 月 10 日(木) 14:00～15:30

・形式／オンライン研修会 「ZOOM」を利用 ★参加者／定員 100 名

発行； 『山梨県地球温暖化防止活動推進センター』 公益財団法人キープ協会

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545キープやまねミュージアム内 TEL:0551-48-8011

FAX:0551-48-3577 Mail; eco@keep.or.jp URL;<http://www.keep.or.jp/yccca/>



つうしん 19 号

◆「新型コロナウィルス禍」でも、やるぞ地球温暖化防止！！

“北杜市子ども環境フェスタ in 北杜2020”を新しいスタイルで行います。

北杜市と北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会

毎年秋の終わりに、北杜市と北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会【グリーン北杜】は「北杜市子ども環境フェスタ」を開催しており、昨年度は10周年を迎えました。

例年、出演者、参加者、スタッフを合わせて約1,000人が集まる、このフェスタ。

これまで、高根総合体育館の屋内屋外に設けられた20以上のワークショップブースやフードコート、園児や中高生たちによる踊り、ダンス、合唱、大人のよさこい踊りなど、多種多様なパフォーマンスを楽しみながら、環境問題と温暖化対策について体験し、学ぶことができました。

しかし、本年度は「新型コロナウィルス」の流行により、これまでのような取り組みを実施することが困難になってしまいました。

そこで私たちは、このことを契機に「中止ではなく、今できることを！！」を合言葉に、動画配信という新しいスタイルでの開催方法を採用して、初の試みを実施することにしました。

今年のイベント内容は「食品ロス削減」、「地元産食材によるきな粉づくり」、「地球温暖化を逆転する100のドローダウン」、「プラゴミ問題」、「身近な川の生き物・水質しらべ」等、全部で11団体が問題を投げかけます。

今回は、グリーン北杜会員をはじめとした、行政、市民、事業所、団体が総動員で撮影を進めています。以下が告知内容ですので、皆様、どうぞご覧ください。

●配信開始日：2020年10月31日(土)

●URL:「グリーン北杜」で検索してください！

●配信元：YouTube

●主 催：北杜市

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会

●後 援：北杜市教育委員会、FM八ヶ岳、八ヶ岳ジャーナル、山梨県地球温暖化防止活動推進センター

●放 映：グリーン北杜 YouTube チャンネルからの録画配信



「新型コロナウィルス」はいつまで続くのでしょうか。手洗い、うがい、マスク、三密を避け、行動を自粛して、ワクチンと治療薬開発を待たなければなりません。

しかしながら、このことを契機として、私たちは行政、市民、事業所、団体が一丸となって取り組んでいる、世界的な気候変動と、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの一種である二酸化炭素削減という目標に向かって、今までの認識や考え方をチョット替え、「今、自分たちができることを！！」先頭に立って取り組んで行きたいと思います。

コロナ禍でも、自分たちのできることを工夫して新たなチャレンジとして表現されている、グリーン北杜のみなさん。今という時代を生きながら、ベストを尽くす姿勢には、いつも感動をいただきます。山梨県地球温暖化防止活動推進センターも、上記のイベントに動画作成をして出展しています。是非、ご覧ください。

◆今こそ、使い捨てからリユースへ

認定 NPO 法人スペースふう 理事長／永井寛子

2003 年、山梨県増穂町（現富士川町）の女性たちの手により、リユース食器のレンタル事業が、わが国で産声をあげました。「循環型社会の実現を目指す」をミッションに、イベントでの飲食で使われる食器（ほとんどがプラスチック製の使い捨て容器）の膨大なごみを減らし、日本中のイベント風景を変えたい、という一念からの行動でした。

あれから十数年。今、プラスチックごみは、さらに深刻な海洋汚染を引き起こし、海洋生物の生態系を脅かしています。海ごみの問題は、市民の環境への意識をもう少しずつ転換させる契機になりました。ところが…突然の新型コロナウイルスの襲来です。新型コロナウイルス感染は、私たちの生活を一変させました。スペースふうに限って言えば、イベントはほとんど中止に…。リユース食器の出番は無くなりました。一方で、テイクアウトで料理を販売する店も増えて、それに代表されるように、使い捨てプラスチック容器が急増し、大量のごみを排出しています。

テイクアウトに限らず、いま日本のいたるところで使い捨てプラスチックが氾濫している現実があります。先日、海外からの情報として知ったのは、「プラスチックにとりつかれた日本」というテーマで、日本ではトマト 1 個でもプラスチックのトレーに乗せてラップでくるんで販売している、日本のスーパーの“異常さ”が紹介されていました。これらは、“脱 使い捨て”に逆行する動きなので、私たちの心は痛んでいます。

「より便利に、より安価に」という社会のニーズがある限り、使い捨てプラスチック容器は大量生産され続けます。その流れを食い止めるのは、「使い捨てはいらない」という消費者の声でしょう。難しい課題は沢山あります。でも、何とかして「使い捨てからリユースへ」の扉を開ける第一歩を踏み出せないかと、今、スペースふうは奮闘しています。

イベントだけにとどまらない、新たな可能性に賭けて

スペースふうの挑戦は続きます。



←「こどもたちは、地球の宝

スペースふうはリユース食器を通して、こどもたちにきれいな地球を渡すために活動を続けていきます！」

山梨県地球温暖化防止活動推進センターでは、認定 NPO 法人スペースふうの活動を応援しています。公益財団法人キープ協会を会場に開かれる「ハケ岳カンティフェア」では、毎年、リユース食器を使わせて頂いています。この活動に興味を持った方は、WEB サイトをどうぞご覧ください。 <http://www.spacefuu.net/>

◆『宙先案内人で行く 池田綾子 星の旅 オンラインライブ from ハケ岳』 2020 年 7 月 25 日

現在、私たちは気候危機とコロナ危機、ふたつの危機と向き合っている状況でより賢い選択“クールチョイス”が必要になってきています。私たちが今しっかり考えて賢い選択をしないと地球の未来がなくなっているかもしれない。賢い選択とはいったい何なのか？未来のことを考えるきっかけとして『宙先案内人で行く 池田綾子 星の旅 オンラインライブ from ハケ岳』を、山梨県地球温暖化防止活動推進センター主催で開催しました。

当日は全国的に雨雲が広がりましたが、ゲストにシンガーソングライターの池田綾子さん(NHK BS プレミアム にっぽん縦断 ころ旅テーマソング等)、空先案内人の高橋真理子さんをお迎えし、澄みきった池田綾子さんの歌声が、『ころ旅』当たり前の空の色』などの名曲で響き渡り、ハケ岳や星空の映像と共に上映されました。また宙先案内人の高橋真梨子さんによる、星が紡ぐストーリーでは、私たちの住む地球という星と一緒に感じ、地球に思いをはせる時間となりました。

後半のトークショーでは、様々な変化を余儀なくされている現在、池田綾子さんと高橋真理子さんの心の変化についてお伺いしました。変化の厳しい中で、すこし立ち止まり、これまでのことや今のことや未来のことを考えることが、この先の考え方が変わってくるポイントなのではないかと思います。また、気候危機やコロナ危機と向き合い共存していく必要がある中で、おふたりが大切にしたい想いをお伺いしました。



★池田さん：高橋さんの星のお話の中であった、超新星爆発は私たちにとって恐ろしい現象であり、命の始まりであり、私たちは星の欠片でできているという広い視野を持つということ。苦しいことがあった時に、心の中の宇宙を広く持っていたいという感覚は忘れないで日々生活していきたいと思いました。

★高橋さん：ずっと遠くから地球を見ることがいかに大事かということを改めて感じました。星を見上げると、人間は自然物の一つという視点と、人間は社会的な生き物でお互い手を取り合い同じ空の下で共に生きるという視点があると、一人ひとりがちょっとしなやかに強く生きられるということを思っています。みなさんもお時間のあるときにおもいきり深呼吸をして空を見上げてみてください。空は広がっていること、みなさんの体の中にも自然が広がっていることを感じる事が出来るかもしれません。そして未来の地球をいつまでも残していくために、今だけじゃなくて未来を見ること。自分だけじゃなくてみんなのことを見ること。ここだけじゃなくて地球のことを見ること。これらのことを大切に、自らが行動できる仲間が増えていけばいいなと思います。

★星つむぎの村・YouTube で当日のライブ映像をご覧ください
<https://www.youtube.com/watch?v=KdCSQSPCxmY&t=3537s>

